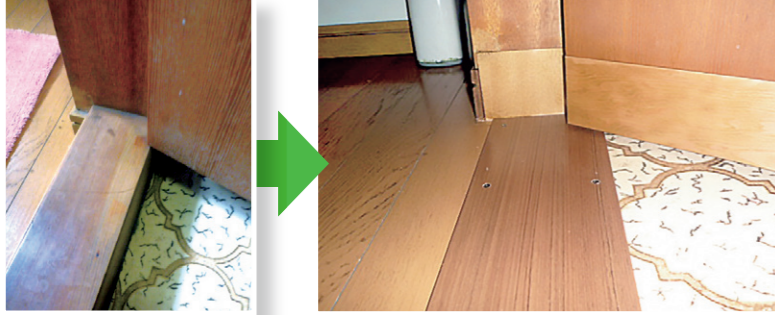


## 段差の解消

### ドアの下枠を取る

下枠を取るだけでも、段差を解消することができ、つまずきを防止できます。



改修前

改修後

### ミニスロープの設置

ミニスロープを廊下側に設置し、段差を解消する方法があります。



## 床の高さを変更する

廊下、トイレ、浴室などは、低い方の床をかさ上げるなどして、段差を小さくする工夫もあります。

例えば、浴室側の床をあげて、洗面室との出入口の段差をなくします。また、浴室側に補助的な排水溝を設置することで、外に水が出にくくなります。



改修前

改修後



こんな方法もあるよ!

### 台+手すり

段差のある場所に台を置くことで、段差を小さくすることができます。

あわせて、手すりを設置することで安定した姿勢で動作できます。



### スロープで段差解消

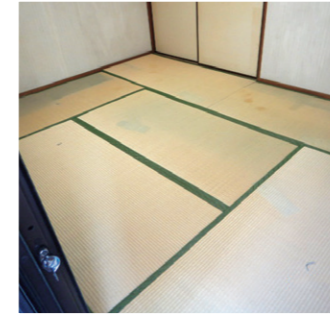
簡易スロープは工事がいらないので、手軽に段差を解消することができます。また、折りたたむため、使わないときは収納できます。



## 床材の変更

### 畳 → フローリングやクッションフロア

畳の上での車いすの移動や操作が重い場合は、フローリングに変更することで、移動しやすくなります。



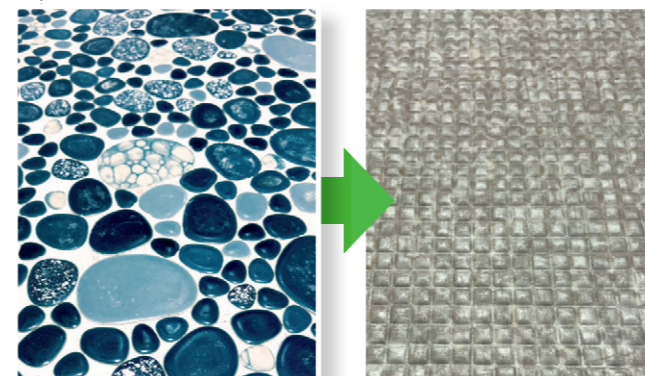
改修前



改修後

### タイル → シート

浴室のタイルをシート床材に貼り替えることで、すべりを防止することができます。



### 転倒防止

「すべり止めマット」を床に貼りつけたり、階段にすべり防止素材を取付けることで、転倒を防ぎます。



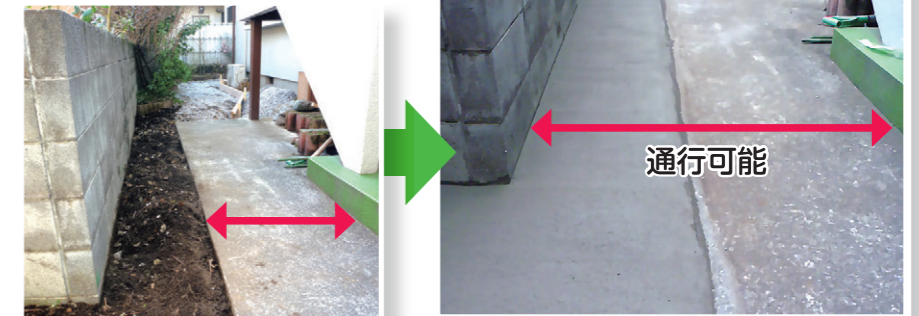
段鼻（段の先端）を目立つ色にすると段が分かりやすいよ。



## 通路を歩きやすくする

平板や飛び石の部分をコンクリートで舗装することで、安全な歩行ができるようになります。

また、舗装面が狭い場合などは、土の部分にコンクリートを打ち足して幅を広げると、車いすでも安全に通行できます。



改修前

改修後